記者発表資料

令和７年11月４日
東北地方整備局
気仙沼市

国土交通省と気仙沼市が合同防災避難訓練を実施します
～大津波警報発令を想定した避難訓練～

〇平成23年3月11日に発生した東日本大震災から令和8年3月で15年、震災以降整備が進められた三陸沿岸道路の宮城県内全線開通から5年を迎えます。
〇三陸沿岸道路は津波浸水エリアを回避し、津波避難場所となる避難階段等が整備されるなど災害に強い道路として整備されました。
〇このたび、東北地方整備局と気仙沼市が合同で、大津波警報発令時の防災避難訓練を実施しますのでお知らせします。

■日　　時：令和７年１１月９日（日）　１０：４５～
■場　　所：本吉除雪ステーション（気仙沼市本吉町九多丸 31）
■主な訓練内容：
　〇地元語り部による防災講話
　〇津波避難訓練（気仙沼市内小学生 20 名程度）

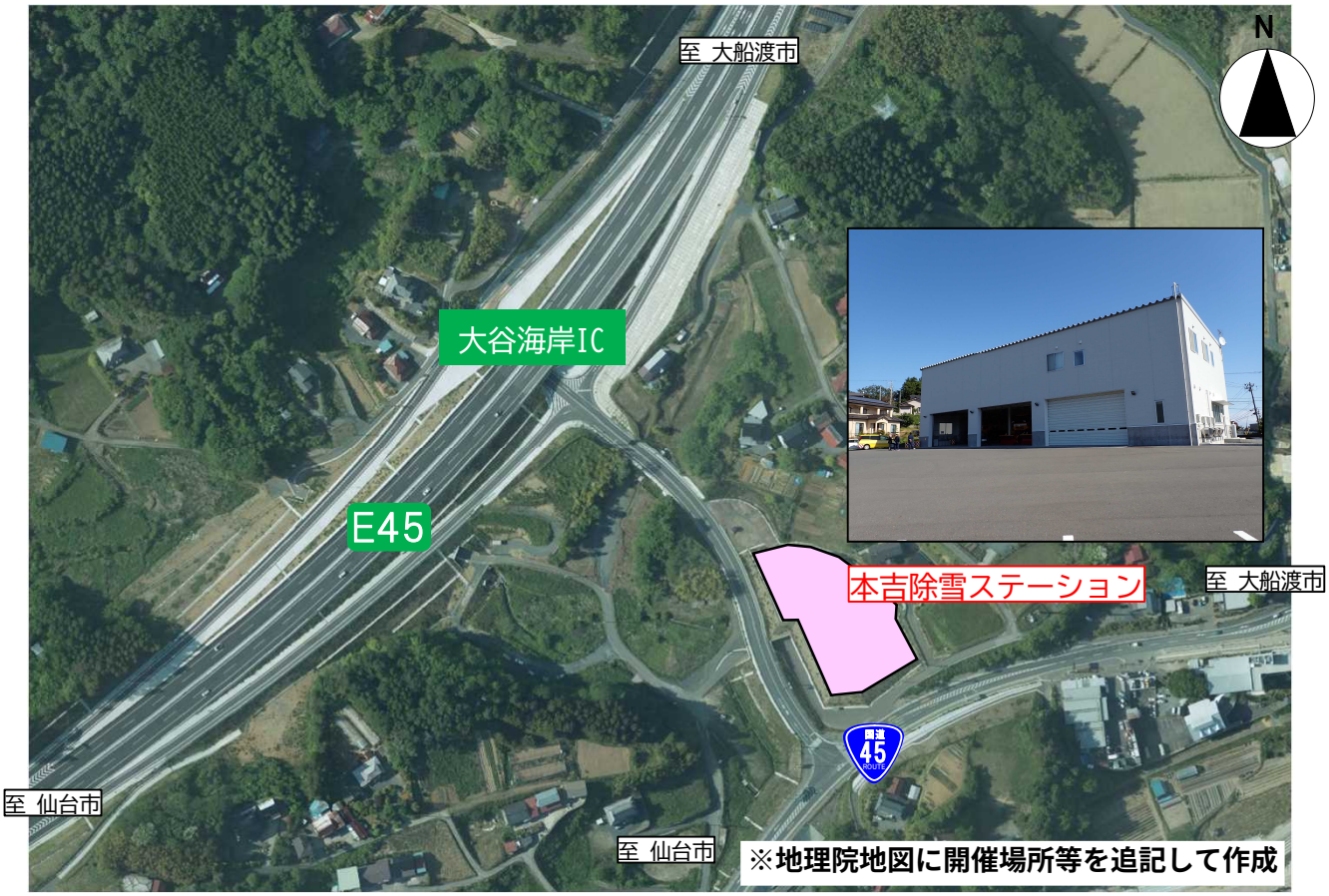
［ 取材について ］
※取材を希望される場合は 11 月 6 日（木）15:00 迄に以下アドレスに【代表者氏名、人数、所属】をご記入の上メールにてご連絡をお願いします。
連絡先メールアドレス：thr-82doukei2@ki.mlit.go.jp
※議事概要等は、後日東北地方整備局ＨＰに掲載します。

＜発表記者会＞
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

＜問合せ先＞
国土交通省　東北地方整備局　TEL:022-225-2171(代表)
道路部　道路管理課　建設専門官　石川（内線 4412）
気仙沼市　総務部危機管理課　TEL:0226-22-3402
危機管理監　千葉

■位置図

■本吉防災ステーション周辺拡大図



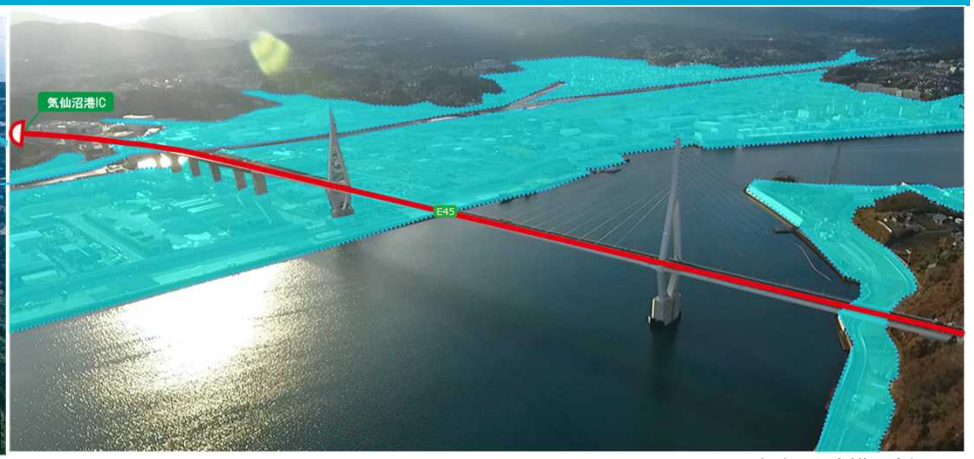
災害時でも強靭な三陸沿岸道路

国土交通省

○三陸沿岸道路は、東日本大震災からの復興のリーディングプロジェクトとして事業着手から10年という異例のスピードで整備が進められました。
○三陸沿岸道路は、津波浸水区域を95%回避し、残りの5%は浸水区域よりも高い橋梁で通過しており、津波発生時における救援活動が可能になるなど、三陸沿岸エリアの安心安全なくらしを支えています。
○また、三陸沿岸道路には36箇所の避難階段・避難路が整備されており、7月30日に発生したカムチャツカ半島沖地震での津波警報発令時に沿線住民の皆様の避難場所として活用された例もありました。

三陸沿岸道路は、津波浸水区域を95%回避、残りの5%は浸水区域よりも高い橋梁で通過しています

▲南三陸町志津川周辺



▲気仙沼湾横断橋周辺

事業着手から異例のスピードで開通

▲令和3年3月6日宮城県内三陸沿岸道路全線開通

三陸沿岸道路には避難階段・避難路が36箇所整備されています

▲気仙沼市本吉町の避難階段

▲令和7年7月20日カムチャツカ半島沖地震による津波警報での避難状況（岩手県普代村）